

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス与野本町教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月18日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	2026年3月11日		2026年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【個々の発達段階に応じた支援の実施】 児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。今後も児童の成長や課題に応じて支援内容の見直しを行い、より適切な支援につなげていく。	【個別支援計画に基づく支援の実施】 児童の特性や発達段階を踏まえた個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行うことを意識している。	【職員の専門性向上】 研修や勉強会への参加を通して、発達支援に関する知識や支援技術の向上を図る。
2	【安心して過ごせる環境づくり】 児童が安心して活動できるよう、環境整備や安全面への配慮を行い、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。今後も安全管理を徹底し、安心して利用できる環境の維持・向上を図っていく。	【職員間での情報共有の実施】 児童の様子や支援内容について職員間で共有し、支援の方向性が統一されるよう努めている。	【活動内容の充実】 児童の興味関心や発達段階に応じた活動を取り入れ、社会性やコミュニケーション能力の向上につながる支援を充実させる。
3	【保護者との連携体制】 面談、トレーニング時、送迎時のやり取りを通して、児童の様子や成長について保護者と共有し、家庭と連携した支援を行っている。今後も保護者との信頼関係を大切にしながら連携を深めていく。	【安全面への配慮】 児童が安心して活動できるよう、活動環境の整備や事故防止への配慮を行い、安全な環境づくりを意識している。	【情報共有体制の強化】 職員間のミーティングや記録の共有を行い、児童の状況をより正確に把握し、支援の質の向上につなげていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【情報共有の時間確保】 日々の業務の中で、児童の状況や支援内容について十分な共有の時間を確保することが難しい場合がある。	【より質の高い支援を行うための時間確保】 日々の支援や記録業務を行う中で、職員同士の振り返りや支援内容の検討の時間をさらに確保することで、より質の高い支援につなげていく必要がある。	【定期的なミーティングの実施】 職員間で児童の状況や支援内容について共有・振り返りを行う機会を設け、支援の方向性の統一と支援の質の向上につなげていく。
2	【活動内容のさらなる充実】 児童の興味関心や発達段階に応じた活動をさらに増やし、多様な経験ができる機会を充実させる必要がある。	【支援内容の充実に向けた体制づくり】 児童一人ひとりに合わせた活動や支援内容をさらに充実させるため、準備や検討の時間を確保しながら体制づくりを進めていく必要がある。	【保護者への情報提供の充実】 日々の活動の様子や支援の内容について、連絡帳や面談等を通して分かりやすくお伝えし、保護者との連携をより一層深めていく。
3	【支援内容の発信】 活動内容や支援の意図について、保護者へより分かりやすく伝えていく必要がある。	【情報共有体制のさらなる整理】 児童の状況や支援内容について、職員間でよりスムーズに共有できるよう情報共有の方法を整理し、支援の質の向上につなげていく必要がある。	【活動プログラムの充実】 児童の発達段階や興味関心に応じた活動を取り入れ、様々な経験を通して成長につながる支援の充実を図っていく。